

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	29-新千里東町団地先工区建設工事	階数	地上12F
建設地	大阪府豊中市新千里東町二丁目7番	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第2種	平均居住人員	370人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2018年11月6日
敷地面積	4,340㎡	作成者	青木あすなる建設株式会社
建築面積	1,111㎡	確認日	2018年11月20日
延床面積	6,941㎡	確認者	青木あすなる建設株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 62%
③上記+②以外の 62%
④上記+ 62%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 当建物は昭和45年に共用開始された団地の一部建替である。基本的には既存の配置、規模を継承しつつ、時代にあった建物を計画している。		その他 既存自然環境の保全に努めている。
Q1 室内環境 ・戸境壁 乾式壁遮音性能TLD-55以上 ・住宅性能表示の温熱環境対策等級4 ・建材はF☆☆☆☆	Q2 サービス性能 ・建築物移動円滑化基準を満たす。 ・共用部のインテリア計画と景観照明計画を行っている。 ・共用部・外装仕上の防汚、防錆に配慮。 ・共用部の維持、管理、修繕、清掃に配慮。	Q3 室外環境(敷地内) ・街並み・景観について、配置、植栽、色彩、記憶の継承、周辺からの景観に配慮。 ・エントランスに大庇を設置。屋外空間の開放性確保。 ・既存樹木をできるだけ保存し、舗装面積をできるだけ
LR1 エネルギー ・住宅性能表示のエネルギー消費量対策等級4	LR2 資源・マテリアル 0	LR3 敷地外環境 ・照明計画は照明の専門家が参画。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0110

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	29- 新千里東町団地先工区建設工事(A街区)						
		建設地	大阪府豊中市新千里東町2丁目7-1の一部						
		用途/区分	集合住宅						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A		
①	CO2削減						5		
②	みどり・ヒート アイランド対策						3		
③	建物の断熱性						4		
④	エネルギー削減						5		
⑤	自然エネルギー直接利用						—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						対象外			
【評価項目】									
項目		評価内容				スコア	評価		
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.5	5		
②	みどり・ヒートアイランド対策								
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0			
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.0	4		
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5		
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-		
その他									
		技術の名称			考慮事項				
先進的技術の導入									
特に配慮した事項									